

山田空手道スポ少団員が活躍

11月に行われた第2回東北少年少女空手道選抜大会と第23回岩手県スポーツ少年団空手道大会で山田空手道スポーツ少年団(佐々木 博代表)の団員3人が上位に入賞しました。

東北選抜大会

団体形・鈴木さん 見事3位入賞



鈴木そあらさん

11月5日、6日に宮城県名取市で行われた第2回東北少年少女空手道選抜大会で、北上市で活動する空手道場の2人とチームを組み出場した鈴木そあらさん(山田小5年)が、団体形で3位入賞を果たしました。

来年2月に北海道帯広市で行われる第2回全日本少年少女空手道選抜大会への出場が決まった鈴木さん。大会を終えて「とても緊張して思うように体が動きませんでした。3位に入賞することができてうれしいです。全国大会では優勝できるように日々の稽古を頑張ります」と闘志を燃やしています。

県大会

組形・竹内さん 手湊さん



湊凜風さん



竹内心遙さん

共に準優勝

11月12日に岩手県営武道館(盛岡市)で行われた第23回岩手県スポーツ少年団空手道大会の小学1年女子組手の部で、湊凜風さん(山田小)が、同形の部で竹内心遙さん(同)と共に準優勝に輝きました。さらに2人は、出場した同組手の部と同形の部でもそれぞれ3位に入賞する活躍ぶりです。

湊さんは「形と組手両方の部で入賞できてうれしいです」と喜びをかみしめ、竹内さんは「もっと稽古をしてたくさん賞を取りたいです」と意気込んでいます。

県大会

山田小相撲クラブ 団体・個人で上位入賞

10月10日に岩手県営武道館相撲場(盛岡市)で行われた「スポーツフェスティバル2022ちびっ子相撲大会」で山田小学校相撲クラブが団体戦で3位、個人戦でも4人が上位入賞する活躍を見せました。

今大会が小学校最後の試合となった田代旺大君(6年)は「優勝できず悔しいですが、小学校最後の大会で3位になれてとても嬉しかったです。これからも相撲を楽しみたいです」と目を輝かせていました。

大会には、県内6市町村から63人が参加し、ちびっ子力士による熱戦が繰り広げられました。

- ◆個人入賞者 ▶男子小学校2年生の部3位…佐藤泰士
- ▶同3年生の部3位…田代啓人▶同5年生の部準優勝…織笠克樹▶同6年生の部3位…田代旺大(敬称略)



左下から田代啓人君(3年)、佐藤泰士君(2年)、内藤琉依君(5年)、左上から植村祥多教諭、伊藤佑功君(5年)、織笠克樹君(同)、田代旺大君(6年)、佐藤真士君(同)

町長室から

12月という月は何かと慌ただしい。昔は支払いといえはお盆や年の暮れと決まっていたから、支払いをする人も取り立てをする人も忙しかったことだろう。私の子どもの頃には、すす払いと称して畳を干したり障子を張ったりと本当に忙しいものであった。6畳間の畳は、たった6枚だが、天日干しの後にそれぞれ元の位置に戻すのがひと苦労である。裏に書いてある数字のまま敷いてもピタリとはまらず、家族で話し合いが行われるのだ。ただ楽しみもあって、畳の隙間に百円玉などがあるとこれはもう大喜びである。当時は百円で多くのお菓子を買うことができたから子供にとつて百円玉の発見は大事なのだ。私は気付かれないようにそつとポケットに入れた。今年の12月はどのような月になるのだろうか。皆さんが晴れ晴れとした気持ちで新年を迎えられるための年末であってほしいと思う。

山田町長 佐藤 信逸